

鳥獣害、引き寄せていませんか？

動物写真家 田野芳久

1. 概略

近年、日本各地はもちろん、群馬県内でも鳥獣被害のニュースを頻繁に耳にするようになりました。

原因は農産物等が良質なエサとなるからに他ならないのですが、あまりに無防備な事もまた、害獣とされる動物たちを引き寄せる原因となっています。

今回、人の営みが動物たちを引き寄せる例（ニホンザル・ニホンイノシシ）を、県内で撮影した写真を交えてご紹介したいと思います。

2. 事例

1. 民家の庭先に実る、ユズに誘引されたニホンザルの例

ある民家の庭先に、例年たわわに実るユズの木（樹高2m程度）がありますが、実が完熟したところにニホンザルの群れがやってきます。

ニホンザルの群れがやって来ると、果実は根こそぎ食われてしまいます。

2. 民家の植え込みの花ダイコンに誘引されたニホンザルの例

春、紫色の花で目を楽しませてくれる花ダイコン（諸葛菜：標準和名はオオアラセイトウ）ですが、アブラナの仲間です。

中国では葉は食用に、種からは油を取っているという花ダイコン、栄養豊富なのでしょうか、民家の庭先に咲く花ダイコンにニホンザルの群れが集まってしまった例です。

3. 家庭菜園に施肥された残菜コンポストに誘引されたニホンイノシシの例

残菜の有効利用として、コンポスターを用いた堆肥作りが広く行われています。

もったいないの精神に基づいた、素晴らしい事だと思いますが、十分に気を配らないといけないという例です。

問題は未分解の残菜を施肥してしまうという事で起こります。

3. 総括

1. 果実のなる庭木は早めに摘果するか、きちんと囲う

（サルに狙われている場合は3次元的に囲わなければなりません）

2. 不要な果樹は伐採する

3. 庭の草花も食用可能なものは避ける

4. コンポスターで作った堆肥をまくのは完全に分解されてから